

「大阪都」ゆきづまりの末

府・市政ダブル投げだし選挙？！

▶2015年きっぱり決着済みです

維新ができるてもう10年、いつまで「大阪都」に固執するのでしょうか？しかも、2015年の「住民投票」では「ラストチャンス！二度目はない」と言ってたのに…。

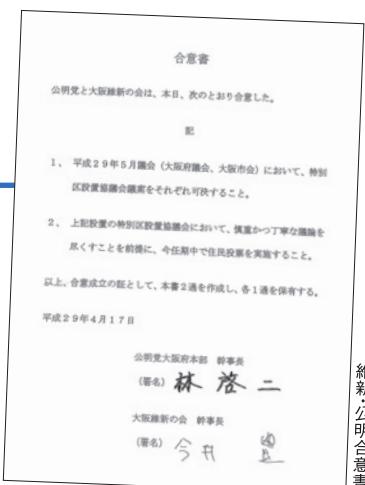
今回が大阪の問題を解決する「最後のチャンス」です。二度目の住民投票の予定はありません。

2015年の住民投票前から、今も掲載されています！（維新の会のHPより）
<https://oneosaka.jp/tokoso2015/>



データ 「大阪都」のムダ

- 「特別区設置」の初期コスト最大637億円、毎年のコスト50億円～60億円も増える！
- 100人の副首都推進局の職員に年間10億円、発足し今年で4年目！



またぞろ「密約」持ちかけるが…

「脅し」や水面下の協議も公明との「合意」に至らず、知事・市長がどちらも投げだし、入れかわってダブル選挙とは、府民・市民をバカにした話です。



MBS放送より（1月23日法定協）

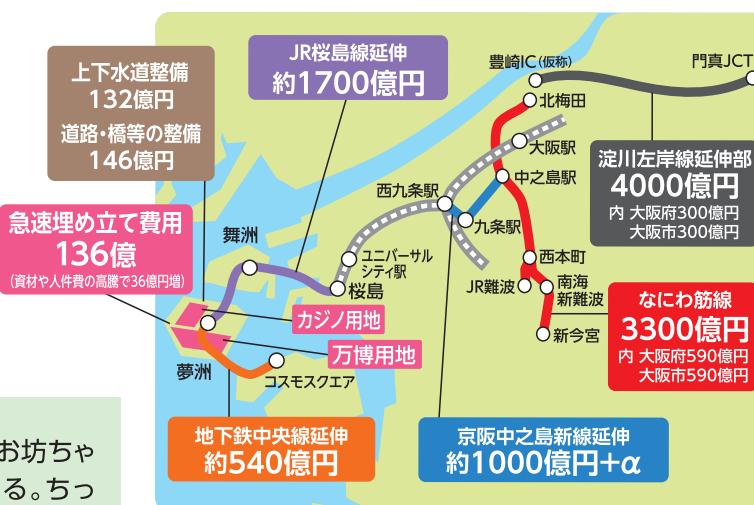
▶ 狙いはカジノ、大型開発

カジノは府民・市民の不幸をくいものにして米カジノ業者に貢ぐもの。「大阪誘致」など何も決まっていないカジノのために夢洲整備をすすめています。人口減少で将来利用者が減少するのに交通網整備に巨額の税金投入も？！

橋下徹語録

「(日本は)ギャンブルを遠ざけてお坊ちゃん、お嬢ちゃんの国になっている。ちっちゃい頃から勝負を積み重ねて勝負師にならないと世界に勝てない」

(2010年10月28日)



3.3府民のつどい

各界のあいさつから

平松 邦夫氏 元大阪市長・公共政策ラボ代表



「出直し」ではなく大義なき選挙。教員を増やすなど子どもに寄り添う教育予算を増やすことが大事。「維新止めたらカジノは止まる」「維新止めたら大阪は元に戻る」。みなさん、ともに全力をあげがんばろう。

中野 雅司氏 大阪を知り・考える市民の会代表



大阪商人は「三方よし」の考え方、維新のようにギャンブルで儲ける考え方ではない。安心して暮らせる大阪をつくるたたかいだ。大阪をバクチの街にしないために、党派を超えた府民・市民の大きな共同をすすめよう。

渡辺 義彦氏 自由党大阪府連代表・元衆議院議員



維新の政治を終わらせるチャンス。地下鉄や水道の民営化はもってのほか、府民のいのちとくらしを守るためにも、統一地方選挙や府知事と大阪市長選を勝利するために、野党一丸となつたたかいに全力あげたい。

熊谷 貞俊氏 大阪大学名誉教授・元衆議院議員



数千億円の税金を使い、夢洲の整備や地下鉄を延伸し、カジノ誘致を進めているのは大阪府と大阪市だけ。税金を健全な産業育成や文化・芸術に使えば、もっと経済波及効果につながる。カジノ反対の府政・市政にしよう。

服部 良一氏 社会民主党大阪府連代表・元衆議院議員



韓国カジノをみても経済振興どころか、くらしこわし・街こわしの実態があり、絶対にカジノを阻止させなければ。知事・市長選をやるなら打って出て市民と野党の共同の力で、維新政治を打ち破り本来の政治を取り戻そう。

山下よしき氏 日本共産党副委員長・参議院議員



ダブル選挙は、維新と公明による密室・密談の破たん、都構想をござり押すために維新が議会での多数を狙い、選挙をもてあそぶもの。住民不在の最悪の党利党略だ。都構想阻止とカジノをストップさせる大義を掲げて、保守の方々を含む府民との共同の力をひろげ、維新政治転換に全力をあげよう。

長尾 秀樹氏 立憲民主党大阪府連幹事長・衆議院議員



否決されたはずの都構想が再熱し、また「IR・カジノ」の誘致に躍起となり、一番大切な市民生活が後回しにされようとしています。まっとうな政治を取り戻し、生き生きと安心して暮らせる社会づくりに向け奮闘します。